



夏のフルーツミックス



年齢や発達これからの育ちを考えながら、子どもの「遊びたい！」という意欲につながるよう、環境を工夫しています。0歳児は、触る・掴む・持つ・引っ張る・はなす・振って音が鳴る遊びを、1歳児は毎朝、発達に合わせて内容を変化させた粗大遊びや模倣遊びを、2歳児はカードゲームの時、先生役の子が「〇〇はどこ？」と質問して、友だち同士で遊んだり、ままごとでは「ごちそうできたよ」と言葉のやり取りしながら遊びが広がっています。



今月のねらい

さくらんぼ組…水遊びや感覚遊びを通し、五感（触覚、聴覚、視覚など）を刺激する。
いちご組…水遊びや色水遊びなど、夏ならではの遊びに参加し、水の冷たさを感じたり様々な感触を味わう。
りんご組…夏ならではの遊びを楽しみ、ダイナミックに遊んだり、水の感触に触れる。



さくらんぼ組

担当保育士を見つけると、嬉しそうに笑顔を見せる子ども達。戸外では、砂遊びや探索を楽しんでおり、毎日が発見の連続です。



いちご組

友だちがやっていることに興味関心を持ち「面白そうだからまねしてみようかな」とか「あの子が持っているあの玩具を使いたいな」という気持ちが芽生えてきます。



大型積み木のシーソー

りんご組

「〇〇する？」と聞くと「やりたい！」といつも意欲的に返事をします。できることが増えるから、だんだんと自信がついてやりたいことがたくさんあり、好奇心いっぱいです。



やったー！



どうぞ

乾杯！

グリーンテラス



ばあ！



むっくりくまさん
穴の中〜♪



にげろ〜！